					THE PERSON AND THE PE
事業コード	H18-建-再-06			区分	国庫補助県単独
事 業 名	海岸侵食対策事	業		部局課室名	建設交通部 河川砂防課
事業種別	海岸侵食対策			班 名	河川・海岸・防災 (tel) 018-860-2515
路線名等	象潟海岸			担当課長名	佐々木 卓郎
箇 所 名	にかほ市象潟			担当者名	主幹兼班長 菅原 俊幸
総合計画と	政策コード C	政 策 名	快	適で安全な生活	舌を支える環境づくり
	施策コード 03	海施 策 名	災	害に強い県土ご	づくりと危機管理体制の充実
の関連	指標コード 07	/ 施策目標(指標)名	海	岸整備率	

#### 1 事業の概要

1. 事業の概要							
事業期間	\$61	~ H21	( 24年)	総事業費	19.6	億円 国庫補助率	1 / 2
事 業 規 模	延長L	= 2 , 0 5	0m 人工リーフ	7350m×2基	2 5 0 m × 1基	基 離岸堤100m:	× 2基
事業の立案に至る背景	秋田県の南西部に位置する当海岸では、冬期波浪や台風等に起因した著しい海岸侵食が問題となっていた。特に住宅密集地に近接する区間では、海岸侵食により重大な災害発生の恐れもある。高い消波効果が期待出来る自然の砂浜が、このまま侵食される事により背後地の被災に至る恐れもあり、国土保全、背後地の防護、砂浜機能の回復を図るべく侵食対策工を設置する必要がある。						
事業目的	にかほ市象潟中心部に位置する砂浜海岸の侵食を防止し、背後地の家屋密集地等を浸食被害から防護する。 対						
			計 画 時	評 価 時		理由	等
	事	業 費	1,952,000	1,952,000	0		
	42萬	工事費	1,741,500	1,741,500	0		
	経費	用補費	0	0	0		
	内訳	その他	210,500	210,500	0		
事業費内訳		国庫補助	976,000	976,000	0		
事業内容	財源	県 債	878,000	878,000	0		
(単位:千円)	内訳	その他	0	0	0		
		一般財源	98,000	98,000	0		
	小工リーフ3 人工リーフ3   事業内容 基、離岸堤2   基						
事業の進捗 状況	全体計画 19.52億円 平成17年度末投資額 15.99億円 進捗率 81.9%						
事業推進上 の課題	特になし						
関連する計 画等	あきた21総合計画の施策目標『海岸整備率』の中核事業であり貢献度が高い。						
情勢の変化 及び長期継 続の理由	日本海沿岸は、冬期風浪や台風等の影響により施工期間が半年ほどしかなく、さらに海岸事業全体の 予算上の制約により期間を要している。人工リーフ及び離岸堤の整備により、砂浜が回復している事 から侵食対策事業継続への期待は大きいと言える。しかし、3基目リーフ施工箇所が漁場であること や、施工済み施設による効果が著しいことからその効果を検証し、3基目着手を検討する。						
	指	標名	海岸整備率				
<b>事</b> 業	指	標式	整備延長/ 海岸	保全延長	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		

# 事業効率把 握の手法及 び効果

指	桪		名	海岸整備率				
指	樗	<u> </u>	式	整備延長/ 海岸	<b>∉保全延長</b>			
指	標の	種	類	成果指標	業績指標	低減指標の有無	有	無
目	標	値	а		56.7 %	データ等の出典	河川砂防課調べ	
実	績	値	b		56.3 %	7 7 子仍田英		
達局	戊率 b	/	а		99.3 %	把握の時期	平成18 年 3	月

事業コード(H18-建-再-06 箇所名 (にかほ市象潟

)

選定または継続	改善	見直し	保留または中止	
指摘事項				
特になし				
上 指摘事項への対応				
特になし				
	指摘事項 特になし 指摘事項への対応	指摘事項 特になし 指摘事項への対応	指摘事項 特になし 指摘事項への対応	指摘事項 特になし 指摘事項への対応

## 2. 所管課の自己評価

<u>2.</u>	<u>所管</u>	<u>課σ</u>	)自己評価	
観		点	評価の内容(特記事項)	評価点
必	要	性	当該海岸における侵食速度は、2.8m/年であり、未整備の場合既設護岸施設及び海 岸背後地が侵食する危険が伴っている。 また、緩傾斜護岸の決壊に伴い、高潮の被害に見舞われる危険も有している。	23点
緊系	急	性	当海岸は、年間3m程度の侵食が進行中であり、背後地にある69戸の防護のみならず、国土保全の観点からも早急に砂浜を回復し、本来保つべき機能を回復する事が急務であると言える。	18 点
有	効	性	手段の妥当性、代替案立案等の可能性 当海岸における代替案としては『突堤』、『ヘッドランド』、『離岸堤』等が予想される。当海岸の事業においては、周辺海岸及び沿岸漂砂の陸下手側の侵食を助長させない事が重要である。また、当海岸近郊には松ヶ崎漁港が位置し操業を妨げない整備をする事が地元からの要望である。よって、人エリーフは、代替案と比して最も条件に適しかつ安価であり、整備済み区間について前浜が発達していることから妥当であると言える。	15 点
効	率	床	費用対効果 事業の費用対効果は、1.20であり1.0以上となっている事から効率性は高い。 コスト縮減の状況 使用するプロックについて、費用比較を行い安価なプロックを使用し超すと縮減を図る 。	9点
熟		度	地域の状況 人工リーフの整備により、砂浜が回復している事から侵食対策事業継続への期待は大きい。また、住家が近い事から要望は強い。 環境対策 海岸侵食により失われた海岸環境の再生を目指し、海中及び海岸における生態系の積極 的回復あるいは創出のために、現状及び将来の生態系を良好に保全するように努める。	15 点
判		定	ランク ( ) 「緊急性」「有効性」等の評価から事業の重要性は高いと言える。また、国土保全の観点から早急な侵食被害の解消のために、コスト縮減及び計画的な事業執行を行い効率性を高め、平成21年度の完成を図る。	80 点
総	合 評	価	継続 改善して継続 見直し 中止 事業の継続は妥当である。	

# 3. 評価結果の当該事業への反映状況等(対応方針)

引き続きコスト縮減に留意しながら、事業を継続する。

### 4. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を「可」とする。

)

# 公共事業箇所評価基準

評価種別 継続箇所評価 適用基準名 海岸事業 事業コード(H18-建-再-06 箇所名 (にかほ市象潟

#### 1.評価内訳

現点 │ 評価項目 細別 要性 防護対象となる面積・人口	評価基準	配点	評価点	摘要
安性 <u>の護刈家となる国債・人口</u> 1 kmあたりの防護面積・人口	10ha以上又は100人以上	15		
	7 h a 以上又は 7 0 人以上	10	10	
	5 h a 以上又は 5 0 人以上	5	ļ	
 災害発生時の影響	その他	0		
<u>炎舌光主時の影響</u> 浸水・侵食戸数	1 0 戸 / km以上	10	10	
23. 22.	5~9戸/km以上	7		
	5 戸/km未満	3		
事業箇所の現状				
波浪、浸食等に対する防護性	波浪、浸食の被害があるなど防護は劣っている 被害は見られないが防護は劣っている	5	3	
	優れている	0	ľ	
計		30	23	
急性海岸整備の緊急性			_	
過去の被害実績	過去に 2 回以上の被害実績がある 過去に 1 回の被害実績がある	5	5	
	記録された被害実績はない	0	i	
侵食の速度	1 . 0 m / 年以上	10	10	
	0.5m/年以上1.0m/年未満	7	ļ	
# <b></b>	0.5m/年未満 北後地位日の社会財産に関わる地帯が担党される	3		
生命財産の危険性	背後地住民の生命財産に関わる被害が想定される 越波による冠水や砂浜侵食の被害が想定される	5 3	3	
	生命財産の危険性は想定されない	0	ľ	
計		20	18	
効性上位計画への貢献度	No file and the second			
あきた21総合計画	施策目標の中核事業であり貢献度が高い	5	5	
	施策目標に間接的に貢献する 施策目標とは別にその他関連事業である	3	1	
 海岸整備に伴う有効性				
災害の防止効果	越波災害防止効果が発現する	5	5	
<b>日本欧リネサ</b> 里	災害防止効果は現状と変わらない	0		
侵食防止の効果	砂浜侵食防止効果が発現する 侵食防止効果は現状と変わらない	5	5	
計	区区別工刈木は坑仏(又ひつない	15	15	
率性 事業の投資効果			. v	
費用便益比(B/C)	2.0以上	5		
	1 . 0 以上~ 2 . 0 未満	3	3	
  事業実施コストの縮減	1 . 0 未満	0		
事業美施コストの組成 該当項目数	3 項目以上	5		
	2 項目	3	1	
	1 項目	1	1	
出知計画 とのに 枯	無 し	0		
当初計画との比較 当初計画事業費からの増減	  減少又は10%未満の増加	5	5	
コルミロテベスルンツロボ	10%以上30%未満の増加	3		
	30%以上の増加	0		
計		15	9	
热度 環境との調和への配慮状況 環境保全への配慮	十分に配慮されている	5	5	
現場体主への配慮	〒万に配慮されている 配慮が不十分で検討している	3	l °	
	特に配慮はない	0		<u> </u>
地元との合意形成の状況				
地域住民の事業実施の意向	意向が強く要件の同意をクリアしている	5	5	
	意向が強く要件の同意を概ね得ている 意向が一部で強いがまだ要件の同意を得ていない	3	1	
事業の進捗状況				
事業の進捗状況 進捗率	計画より進捗している	10	]	
	概ね進捗(90~100%未満)	5	5	
進捗率		5 3		
	概ね進捗(90~100%未満)	5	5 15	
進捗率	概ね進捗(90~100%未満)	5 3		
進捗率	概ね進捗(90~100%未満)	5 3		
進捗率	概ね進捗(90~100%未満)	5 3		
進捗率	概ね進捗(90~100%未満)	5 3		
進捗率	概ね進捗(90~100%未満)	5 3		
進捗率	概ね進捗(90~100%未満)	5 3		
進捗率	概ね進捗(90~100%未満)	5 3		
進捗率	概ね進捗(90~100%未満)	5 3		
進捗率	概ね進捗(90~100%未満)	5 3		
進捗率	概ね進捗(90~100%未満)	5 3		
進捗率	概ね進捗(90~100%未満)	5 3		
進捗率	概ね進捗(90~100%未満)	5 3		
進捗率	概ね進捗(90~100%未満)	5 3		
進捗率	概ね進捗(90~100%未満)	5 3		
進捗率	概ね進捗(90~100%未満)	5 3		
進捗率	概ね進捗(90~100%未満)	5 3		
進捗率	概ね進捗(90~100%未満)	5 3		

#### 2.判定

	· —			
ランク	判定内容	配点	判定	摘要
	優先度がかなり高い	80点以上		
	優先度が高い	60点以上~80点未満		
	優先度が低い	6 0 点未満		